

躍 YAKUDO! 動 SPORTS

SPORTS PEAK PERFORMANCE



財団法人 山形市体育協会



写真提供：山形新聞社

山形市立第六中学校 男子バスケットボール部

第37回全国中学校体育大会バスケットボール競技で本県代表の山形六中は、決勝で京北中学校（東京）を99対70で破り、悲願の全国制覇を達成した。男女を通じて県勢初めての優勝。



写真提供：山形新聞社

第37回全国中学校体育大会 バスケットボール男子決勝

第4クォーター山形六中の高橋貴大選手（右）がシュートを決める。

山形市自転車競技連盟

YCF Yamagata Cycling Federation

会長 田中 清

事務局 〒994-0069
天童市清池東2-10-1
山形電波工業高等学校内
TEL 023-655-2321
FAX 023-655-2322

山形地区バドミントン協会

会長 鈴木 隆一
理事長 工藤 重廣
事務局 石沢 英司

<http://www6.ocn.ne.jp/~yamabado/>

頂 点

P E A K

第三十七回全国中学校体育大会に出場して

植松 哲也
Uematsu Tetsuya

今年の大会は、自身にとって二度目の全国大会出場でした。前回は二年前の結果は、当時山形県中学校男子での最高成績三位で終わることができました。当時一年生であった現三年生を六名エントリーすることができたのは、今考えてみると今年の全中での優勝に大きくプラス材料になっていたのだと思います。

さて全国大会に向けての強化・準備を整え、八月全国大会が山形市を主会場に開催されました。チーム・選手が一年間目標としてきた優勝までは六試合。途中で負ければ終わりという中、どこかで必ず勝負の山がくると覚悟しながらも、予選を二戦二勝で乗り切り決勝トーナメントに進みました。決勝トーナメント一回戦、対戦は岡山県の旭東中学校。五月に山形で強化練習を行ったときに来ていただいたチームでした。やや堅さの見たれた予選から少しずつ調子も戻り、たくさんの応援を背に勝利することができました。そして、決勝トーナメント二回戦、相手は十二月の練習試合で一点差で敗れた福

岡県の姪浜中学校。お互いにシュートが入らずロースコアの試合展開でしたが、第四ピリオド終盤に一気に引き離し五八対四四で勝利することができました。この対戦が大きな山と考え、これまでで公式試合では一度も使ったことのないゾーンディフェンスで臨んだ結果が勝利につながったのだと思います。そして、最終日、山形市総合スポーツセンターの観客席が満員になるほどの大声援をうけ準決勝・決勝とこれまで見たこともないような選手達のプレーで念願の優勝を果たすことができました。

考えれば、この優勝は山形六中男子バスケットボール部だけで成し遂げられたものではなく、陰で支えて下さった沢山の力の集大成であると思います。これまで応援していただいた沢山の皆様への感謝の気持ちを忘れず、ポスト全中に向けた一層の努力を重ね、来年度の新潟全中でも上位成績を残せるよう強化を重ねていきたいと考えております。



植松 哲也氏

【生年月日】 昭和39年6月8日

【出身校】 高校/日大山形高校
大学/日本大学 文理学部 体育学科

【競技種目】 バスケットボール

【競技歴】 20年

【開催年】 (大会名・種目)

1981年	全国高校選抜優勝大会	2	位
1981年	全国高等学校体育大会	2	位
1982年	全国高校選抜優勝大会	優	勝
1982年	国民体育大会(少年男子)	2	位
1983年	インターカレッジ	優	勝
1988年	国民体育大会(成年男子)	2	位

【指導歴】 20年

【指導成績】

2001年	国民体育大会東北予選(成年男子)	2	位
2005年	東北中学校体育大会	2	位
2005年	全国中学校体育大会	3	位
2006年	東北中学校体育大会	3	位
2007年	東北中学校体育大会	優	勝
2007年	全国中学校体育大会	優	勝

【現役職】 山形第六中学校教諭

男子バスケットボール部 顧問



京都 鉄板焼



しぶちゃん

〒990-0042 山形市七日町2-1-15
TEL.023-642-6397
FAX.023-625-6148

営業時間 ※PM5:30~AM0:00 定休日 火曜日



崇武館四つの目標

- ①青少年の健全育成
- ②武道文化の普及振興
- ③選手及び指導者の育成強化
- ④生涯武道の推進

空 手 道 崇 武 館 本 部

館長 飛鳥宗一郎 副館長 飛鳥 康弘
師範代 中村雄二郎 横山 弘 菊地 健治 三沢 作三
仲野 信勝 田鎖 光雄 横田 和浩

〒990-2443 山形市南三番町3-7
電話・FAX (023)641-8075
ホームページ:崇武館 で検索してください。

輝かしく記録に想う

全国高等学校総合体育大会

柔道女子個人78キロ超級 優勝

山形中央高校 渡 辺 紘 子



今年のインターハイは、佐賀県の基山町で開催され私は、団体戦・個人戦共出場する事が出来ました。自分達が主力となって優勝を目指し今まで以上に厳しい練習を積んできました。団体戦一次リーグに強豪高で

ある埼玉栄高校と、草津高校との戦いでした。優勝を目標に戦ってきたのに、残念ながら一次リーグを抜ける事が出来ず、私は一本をとる事も出来ずふがいない結果に終わり、宿舎に帰ってから落ち込んだままの状態でした。

個人戦は、応援にかけてくれた人達の応援に応えよう、先生の喜ぶ顔をみたい。と強く思いました。体の調子もよく、絶対いけると感じるものがありました。一回戦、やはり緊張していたのか、体が思うように動かずなんとか優勢勝ち。二回戦も優勢勝ち、三回戦は、優勝候補といわれる愛知県の山本選手を大外刈りで、一本勝ち。準決勝では、やはり優勝候補といわれた、北海道の山部選手を、上四方がため一本勝ち。決勝では、くしくも団体戦で敗れた埼玉栄高校の村越選手でした。絶対勝つてやると思いい、開始から攻めの姿勢を貫きました。技ありをうばいましたが勝つなら一本勝ちしかないといい、最後の寝技になるまで、力をゆるめる事なく攻め続けました。タイムがなり初めて到達した全国頂点。木下先生からは、「よくやった。」との言葉を頂き、かけよった仲間達と抱きあつて喜びました。柔道は、試合場で戦う時は、一人なのですが、決勝では皆と力を合わせて戦っているような不思議な感じでした。

今後も柔道が続いていき、日本の頂点にたち世界でも通用するような、強い精神力を身につけ、スポーツを通して人に感動を与えていきたいと思えます。目標を達成出来るように日々練習に励んでいき大学でも全国大会で、優勝できるように努力していきたいと思えます。

第六十二回国民体育大会

ボクシング少年フェザー級 準優勝

日大山形高校 林 国 孝



今年の夏に行われた佐賀インターハイには「全国制覇」という目標を立てて挑みました。しかし、三位という悔しい結果に終わりチャンピオンとの差を感じました。

そこで、九月末から秋田で行われる若杉国体で「全国制覇」という目標を達成するためにこれまで以上に練習を頑張ってきました。特に三ラウンド全力で戦える体力と筋力強化を重点に練習しました。体力面では、これまで以上に走りこみ、下半身強化に取り組んだ結果力強いパンチを打つことができました。筋力面でも、今まで以上にサンドバックを打ちこみ、打ち合いになっても打ち負けない筋力と全力で打ち続ける体力をつけることができました。また、辛い練習で自分を追い込むことにより精神的にも強くなれたと思えます。

その結果、若杉国体では優勝には届きませんでした。順位を一つ上げ準優勝という結果を残すことができました。大会では、準決勝で開催地の秋田の選手と対戦しました。序盤は会場の独特なアウェーな雰囲気の中、自分のペースを上手く握れず、自分のボクシングを忘れてしまっていました。しかし、最終ラウンドではがむしゃらに攻め大差で勝つことができました。

決勝では熊本の選手と戦いました。初回得意の左ストレートでダウンを奪い、ペースを掴みました。ですが、不意をつかれカウンターで二度のダウンを奪われ私の高校最後の試合が終わりました。

来春から私は、関東リーグ一部の拓殖大学に入学します。日本一になるには、練習も必要ですが生活態度も試合に出てくるので何事にも積極的に取り組んでいきたいと思えます。大学では強豪揃いの最高の環境の中、自分を磨き私の目標である「全国制覇」を達成します。

一緒にいい汗流しませんか？

山形市合気道連盟

山形県武道館 (山形市霞城公園内)
毎週 水曜・金曜 午後6時から午後8時山形市スポーツセンター (山形市落合町1)
毎週 木曜 午後6時半から午後8時半

自分の人生を本にしてみませんか！

坂部印刷株式会社

情報センター 山形市流通センター1丁目5-3
電話 (023) 631-2057
FAX (023) 631-0649

輝かしく記録に想う

第六十二回国民体育大会

陸上少年女子B二〇〇m 優勝

上山明新館高校 高橋 優香

今回、国体の、高校一年生と中学三年生が出場する少年B二〇〇mで優勝することができました。

今回の大会の目標は「自分の走りをして優勝すること」でした。それを頭に置き、それまで一つ一つの練習を頑張ってきました。

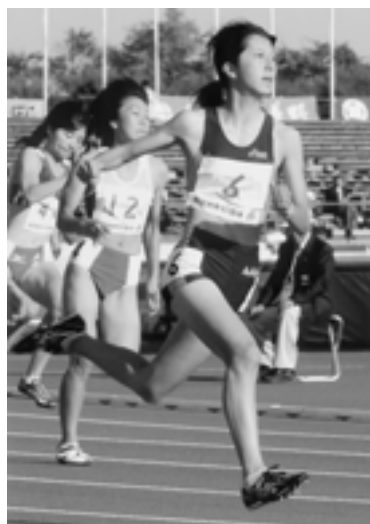
当日、予選・準決勝を一位で通過することができました。しかしそれはプレッシャーになってしまい、とても緊張していました。そんな私にコーチの先生が、今回の目標を改めて強く持たせてくださいました。山形県選手団のみなさんの応援のもと、決勝でも自分の走りができました。ゴールした瞬間は本当に信じられなく、夢のようでした。

今回の大会の勝因の中に「気持ち」の部分があります。私は決勝になると弱気になってしまふことが多いので、競技の前、いつも以上に「負けない気持ち」を強く持ちました。その強い気持ちが「優勝」につながる大きな鍵だったと思います。

次の目標は「インターハイ優勝」、それが今回の喜びを味わってからさらに強いものになりました。ゴールした瞬間、今までの大会と比べものにならないほど嬉しくて、こんなに嬉しいものなのかと思ったこと、今でも鮮明に覚えています。その嬉しかった気持ちを忘れず、毎日の一つ一つの練習をいねいに積み上げて行きたいと思います。

最後に、今回の大会では応援の声がとても励みになりました。山形県選手団のみなさん、友達、家族、いろいろな人の応援があったからこそ、今回の結果が出たと思っています。陸上競技という個人競技でも仲間と支え合っていることを改めて感じました。

これから周りの方の支えを常に感じながら感謝の気持ちを忘れ



写真提供：山形新聞

ずに次の目標に向かって日々の練習を頑張っていきたいと思えます。これからも応援よろしくお願ひします。

全国高等学校体育大会

新体操女子個人総合 優勝

山形北高校 庄司 七瀬



かった。

新体操は最初に曲づけの先生がいて、演技をつける先生がいて、そして完成度を上げる練習のコーチがいる。そのうえ曲をかける人がいて初めて演技が出来るという競技なので、私はここまで来るのに本当に様々な人と出会い、沢山の人の支えられてきた。

入学した時の私の目標は『インターハイや国体に出場し、上位に入る！』だった。その時は三連覇したいなどと考えたこともなかった。ただノミミスで演技したいという気持ちだけだった。だが一年生で優勝してしまった私は『三連覇したい』と次第に思うようになったのだ。そしてこの思いは私の練習の妨げとなつた。思えば思うほど、思い通りにはいなくなり、辛い日々が続いた。しかし、様々な人の言葉や応援のおかげで、それを克服することができた。辛かったが『三連覇したい』という気持ちなしでは優勝出来なかつたと思う。プレッシャーに打ち勝つにはただひたすら練習し、これだけ練習したのだから大丈夫だという自信を持つことだと思った。

私は今年感じたのだが、いくら自分が良いと思う完璧な演技をしても、思うような点数が出来ない時もある。新体操は他の競技と違って採点競技である為、審判全員に納得して貰えるような演技をしない限り結果はついてこない。だからこそインターハイの優勝は本当に大変なことだったと思う。それが出来ただけでも私はいつも一緒に練習し応援してくれる仲間、厳しく指導して下さるコーチ、自分のことは二の次にして私中心の生活にしてくれる両親に感謝したい。

そのためにも、自分をさらに磨き、より高い目標を持ち、それが叶うように練習に励んでいきたい。

山形市ラグビーフットボール協会

会長 後藤 誠一
理事長 杉沢 隆宏
事務局長 黒沼 広

祝 山形中央高校ラグビー部
10年連続全国高等学校ラグビー大会(花園)出場
めざせ、全国ベスト8!!

山形市ヨット連盟

会長 伊藤 剛
理事長 菅井 悠武

山形市ゲートボール協会

理事長 佐藤 豪

ゲートボールといえば、即高齢者を連想する方が多く、メディアもそのようなとらえ方をしているのが多く見受けられますが、ゲートボールはそもそも戦後間もない頃、遊び道具を持たない子供達のために、英国のクリケットをヒントに考案された日本独特のスポーツなのです。それが特にはげしい運動でもなく、強い体力も必要とせず、広い場所もいらず、年齢性別に関係なく、誰でも近くの空地で手軽に出来る事から老人クラブ等が積極的に取り入れ、普及拡大された為に高齢者のスポーツというイメージが定着したものと思われまます。

山形市ゲートボール協会は三十年程前に愛好者の連合団体のような形で生まれたようですが当時の資料に乏しく、また当時の役員の方の中には物故者の方もあり詳細については不明ですが、昭和五十九年二月協会の規約が制定され本格的に発足し、最盛期には二千名を超える会員を擁したとの記録もあります。

現在は市内を七つのブロックに分け、三十の支部を擁する組織となり、本会々員はもとより時には近隣市町にも参加を呼び掛けて数々の大会を開催すると共に、県大会や東北大会その他上部団体の大会にも選手や審判員を派遣する活動を行っております。

今後増加するシルバー世代の方達の交流の場の提供、健康保持、ボケ防止などの生涯スポーツの機関としての役割を果たすと共に、も



協会役員一同

とも子供達のために考案されたという原点に還り、競技を通してルールを理解し、ルールを遵守して適切な競技を行うという知的面と精神面の養成など教育の一助に少しでも役立つ事が出来ればと念願しています。

そして社会人大会、ジュニア大会、世代交流大会などの若年者の参加する全国大会に山形市からも出来るだけ参加するチームが数多く生まれることを希望しています。

夢・友情・敬愛・挑戦

山形市柔道連盟 会長 二戸 昭夫

山形県武道館の存続の問題です。

現在の県武道館は、県都山形の中央に位置し霞城公園の中にあります。交通アクセスが良く、小中高生はじめ一般老若男女、柔道・剣道・空手はもちろん、武道家等心身鍛錬の稽古場として、各種大会、練習と欠かせない武道館道場であり、数多くの優秀な選手先輩を送り出しました。

またこれまでも、武道だけでなく、野球・テニス・サッカー等の利用も多く、スポーツの公園として多くの市民・県民に親しまれてきました。プール、テニスコートの撤去も市民に取って寂しい限りです。その場所は夜、一人では通れない等、防犯上でも、どうかと思う時があります。

他のスポーツ関係者も同様と思いますが、平成二十年一月からの耐震工事により約五カ月間使用不可となるため、現在、山形県武道館を使用している各団体に取って、練習場、大会会場探しに四苦八苦しています。

山形市民一人一スポーツを目指す上でも、霞城公園を核としたスポーツ公園と文化公園の併用が考えられると思います。

小子化によるスポーツ人口の減少、スポーツ離れ等、柔道人口についても少なからず影響は免れないと思っています。

活気ある山形のスポーツを、緑豊かで最高の環境に恵まれた霞城公園内の施設を生かした存続整備、新設（全国大会開催可能な施設）こそ、スポーツ山形、県都山形に切に望みます。



※柔道とは、心身の力を最も有効に使用する道

精力 最應善活用 善用 これを柔道という。

善鷹用心身之力謂之柔道（進平斎）

精力善用 自他共栄 共存共栄

相助相讓

※柔道修行の目的

柔道の修行は攻撃防御の練習によって身体精神を鍛錬修養し、斯道の神髄を体得することである。そうして之によって己を完成し世を裨益するのが柔道修行の究極の目的である。

一、武術の取得 二、体育
三、精神修行 四、原理の実生活への応用

山形市クレー射撃協会

会長 佐藤 政治
副会長 田代 長太郎
理事長 石井 宗吉



山形の活動拠点 ゆりのホテルライフ

ホテルメトロポリタン山形は
宿泊、ブライダル、コンベンションなど
みなさまにゆとりと笑顔のある
コミュニケーションスペースを提供しています

ホテルメトロポリタン山形

〒990-0009 山形市番町1-1-1
TEL 023 (622) 1111 (代)
URL <http://www.met-ro-yamagata.co.jp>

SPORTS PEAK PERFORMANCE

大会名	氏名	所属	競技名	種目	順位	
国際グランプリ 大阪大会	安孫子光裕	日本ジュニア選抜・筑波大学	陸上	男子400mリレー	1	
世界選手権	三沢 樹知	山形北高校	新体操	女子団体	7	
日本選手権	安孫子光裕	筑波大学・上山明新館高校出	陸上	男子400mリレー	1	
日本学生対校選手権				男子400mリレー	1	
日本選手権リレー				男子400mリレー	1	
日本選手権混成	石沢 雅俊	小島プレス・山形中央高校出	陸上	男子十種競技	4	
第62回国民体育大会	高橋 優香	上山明新館高校	陸上	少年女子B 200m	1	
	林 国孝	日大山形高校	ボクシング	少年男子フェザー級	2	
	関東 貴広	山形南高校	ボクシング	少年男子ライト級	2	
	柏倉 圭吾	日本大学	ボクシング	成年男子ライトフライ級	3	
	佐藤 祐平	日本大学	ボクシング	成年男子ライト級	3	
	本間 大朗	山形南高校	ボクシング	少年男子ウエルター級	3	
	大石 奈緒	山形ファミリーボウル	ボウリング	成年女子年齢別個人29歳以下	3	
	市川 倫子	県体協	フェンシング	成年女子フルーレ	4	
	岡部ソフィ満有子	山形北高校	陸上	少年女子共通走り高跳び	4	
				少年女子B 走り幅跳び	4	
		橋本 弘平	山形東高校	馬術	少年ダービー	4
		舟山 直樹	群馬大学	レスリング	成年男子グレコローマン96キロ級	5
		須藤 学	日本大学	レスリング	成年男子フリー 55キロ級	5
		茂木 一平	山形南高校	レスリング	少年男子グレコローマン60キロ級	5
		江口 雄治	山形南高校	レスリング	少年男子フリー 74キロ級	5
		松田 淳司	県体協	カヌー	成年男子カヤックシングル200m	5
		越後 拓真	山本学園高校	ボウリング	少年男子個人	6
		渡辺 耶推	山形三中	競泳	少年女子B 100mバタフライ	6
		富田 直樹	山形中央高校	陸上	少年男子A 三段跳び	7
		工藤俊之介	山形東高校	馬術	少年二段障害跳越	8
全国高等学校総合体育大会	庄司 七瀬	山形北高校	新体操	女子個人総合	1	
	渡部 紘子	山形中央高校	柔道	女子柔道78キロ超級	1	
	岡部ソフィ満有子	山形北高校	陸上	女子走り高跳び	2	
				女子七種競技	3	
	林 国孝	日大山形高校	ボクシング	フェザー級	3	
	斎藤 宏文	日大山形高校	競泳	男子200mバタフライ	4	
	石山真紀子	山形城北高校	陸上	女子1500m	5	
	佐藤・岡田・後藤(康)・後藤(浩)	山形商業高校	レスリング	学校対抗	5	
	佐藤健太郎	山形工業高校	柔道	男子個人81キロ級	5	
	佐藤(健)・舟山・斎藤・酒井・佐藤(文)	山形工業高校	柔道	男子団体	5	
山形西高校		登山	女子団体	6		
全国中学校体育大会	熊澤・高橋・佐藤(和)・佐藤(完)・笹原・古瀬・青山・阿部・志貴・千葉・秋葉・武田・八鍬・東海林・川田	山形六中		バスケットボール	男子バスケットボール	1
	鈴木・小松・菅原・中嶋・志田	山形三中	剣道		女子団体	2
	佐藤 全	山形附属中	剣道		男子個人	3
	小関 有希	山形七中	柔道		女子個人44キロ級	3
	大山 琢也	山形三中	バドミントン		男子シングルス	5
JOCジュニアオリンピックカップ夏競技大会	山形水球クラブ		水球	15歳以下男子	1	
全国障害者スポーツ大会	工藤 洋一		アーチェリー	コンパウンド30mダブルラウンド	2	
	工藤 英士		陸上	砲丸投	4	
	関東 真望		水泳	25m自由形	4	
				50m自由形	5	
	奥山 雄太		フライングディスク	アキュラシー・ディスリート・7 ディスタンス・メンズ・スタンディング	5 5	

山形市なぎなた連盟

会長 細 谷 伸 夫

生涯スポーツとして明るく
楽しく☺ いい汗を流しましょう!!

— 理 念 —

なぎなたは、なぎなたの修練により
心身ともに調和のとれた人材を育成する。

お稽古 ● 山形市総合スポーツセンター 毎週水曜日 PM 6:00 ~

高級鮮魚
株式会社 魚専

本店 山形十七日町四丁目1-3
TEL 代表 ☎ 3173

写真提供：山形新聞社



陸上 全国高校総合体育大会
女子走り高跳び：2位
岡部ソフィ満有子（山形北高校）



剣道 全国中学校体育大会
女子団体：2位
小松 舞（山形第三中学校）



レスリング 全国高校総合体育大会
学校対校：5位
後藤康秀（山形商業高校）



ボクシング 第62回国民体育大会
少年男子ライト級：2位
関東貴広（山形南高校）



ボウリング 第62回国民体育大会
成年女子個人29歳以下：3位
大石奈緒（山形ファミリーボウル）

地区振興会巡り 第10回（第十地区）

「暮らしの中身」として受け止められ、理解されるようになったからだろうと思う。機は熟し好機到来であります。

今後の重要課題はただ一つ、全地区民のための地区民による立派な「総合型地域スポーツクラブ」の創設に向け鋭意努力して参りたいものと思っております。



昭和五十三年四月、地区内のソフトボール愛好会の中から地区に体育部会を創ろうという提案を受け、一年後に体育振興会が生まれたものであります。

以前から開催されていたソフトボール大会に加え、昭和五十四年に地区民運動会が実施され今日まで、実に二十八回に亘り開催され、当会や霞城公民館共催と併せ年二回のソフト・バレーボール大会、ペタンク、グラウンドゴルフ大会等多彩な事業を展開しております。

かつては、チームづくりや人集めのための役員には大変なご苦労がございましたが、時をえて、今日では参加者も数を増し、開催されるスポーツやレクリエーションを第十地区内に住む地区住民が、

昭和五十三年四月、地区内のソフトボール愛好会の中から地区に体育部会を創ろうという提案を受け、一年後に体育振興会が生まれたものであります。

以前から開催されていたソフトボール大会に加え、昭和五十四年に地区民運動会が実施され今日まで、実に二十八回に亘り開催され、当会や霞城公民館共催と併せ年二回のソフト・バレーボール大会、ペタンク、グラウンドゴルフ大会等多彩な事業を展開しております。

かつては、チームづくりや人集めのための役員には大変なご苦労がございましたが、時をえて、今日では参加者も数を増し、開催されるスポーツやレクリエーションを第十地区内に住む地区住民が、

昭和五十三年四月、地区内のソフトボール愛好会の中から地区に体育部会を創ろうという提案を受け、一年後に体育振興会が生まれたものであります。

以前から開催されていたソフトボール大会に加え、昭和五十四年に地区民運動会が実施され今日まで、実に二十八回に亘り開催され、当会や霞城公民館共催と併せ年二回のソフト・バレーボール大会、ペタンク、グラウンドゴルフ大会等多彩な事業を展開しております。

かつては、チームづくりや人集めのための役員には大変なご苦労がございましたが、時をえて、今日では参加者も数を増し、開催されるスポーツやレクリエーションを第十地区内に住む地区住民が、



第十地区体育振興会
会長 鈴木 善太郎

第十地区は、山形中心市街地の西玄関口、新都心として誕生した山形駅西地区を中心に、西回りバイパス（県道上山天童線）までに広がる交通の要所ともなっております。

また現在は、霞城公民館や福祉センター、山形商業高校等の各種学校が点在し、福祉・文化・教育・交流や触れ合い等の集積地区となつて参りましたが、以前は地区の大半が水田や畑地であり、昭和三十九年頃を境に都市化が進行し、現在、十三町内会で構成され世帯数三、二七戸、人口約七、九〇〇人を擁する商・工・住の混在地区である。

しかし、このような土地柄を背景に、地区内には神社や仏閣、名所旧跡等すべて皆無であり、当然ながら古来の伝統的な祭りや行事等も有りませんでした。

このような情況下、残念ながら地区内のコミュニケーションも希薄であつたと回顧する。

合宿・ゼミ・会議・研修会

各プランは <http://www.center-plaza.jp>



標高800mの高原でトレーニング
多目的ホールやグラウンド・体育館
の手配もお申し付け下さい。



Center Plaza

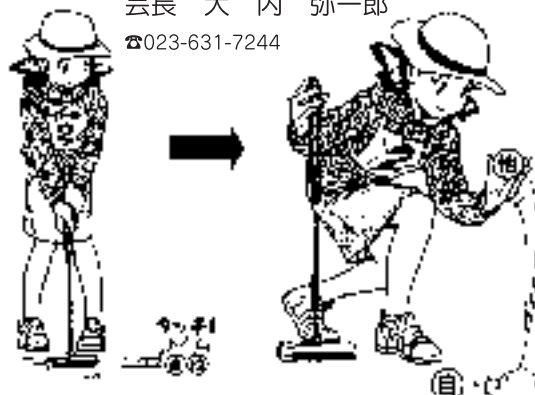
蔵王温泉 ZAOセンタープラザ
990-2301 山形市蔵王温泉903-2
TEL 023-694-9251

山形市ゲートボール協会

山形市銅町二丁目 11-29

会長 大内 弥一郎

☎023-631-7244



今知的スポーツが
人気です!!

第七回全国障害者スポーツ大会

アーチェリーコンパウンド
三〇mダブルラウンド

準優勝 工藤 洋平

秋田県で開催された第七回全国障害者スポーツ大会（わか杉大会）に出場して、二回目となり前回は熊本大会に出場した。秋田大会にはアーチェリー競技のコンパウンド部門に出場となり、去年の十一月から練習を始めて、六月に開催された秋田県でのみちのく杯では、国体のリハーサル大会として本番さながらの試合でした。その時の記録は最高点となり良かったので大会にむけて一点でも多くとれるように練習をしてきました。

大会当日は、晴れていてとてもいい天気であった。参加人数は四二人でその中でコンパウンド部門には四人なので、入賞できるように頑張ろうと思った。試合中は六射ごとに途中経過として点数を見ることができるので、一点差で順位が入れ代わるので緊張しながら試合が進みました。午前中の試合は、すこしずつ風が吹いてきて、まん中に狙うことができずにみんなが苦労していました。六射ごとの点数は、五十点前後となりなかなか思うように射てなかった。六回目の時には、風が強く吹いてきて、ミスをしてしまい、四五点に終り、上位との点数差が大きくなってしまった。このままでは、入賞できなくなると思い、午後からの試合では、時間をかけてゆっくり射つことにしようと思った。そのように考えて射つことにしたので、六射ごとの点数は、五三点平均となり、午後の試合では最高点の三一九点となりましたが、午前中の試合が悪かったので一位との差が六点となり二位となりました。秋田わか杉大会では監督会議に出席したり、冬県の人たちと交流できて楽しかったです。

今後の課題としては、ミスをしないように練習をして、精神面や技術面を上げていき、いろんな大会に出場し入賞していきたいです。



賛助会員の募集について

当協会は、市民の皆さんのスポーツに対する幅広いニーズに応えるべく様々な活動を展開しております。私達と一緒に、市民の皆さんのスポーツ活動をバックアップして下さる賛助会員を募集しております。つきましては、当協会の賛助会員になっていただき、物心両面のご協力をお願い申し上げます。

◇賛助会員に対する事業

- 1 会員には、会員証を交付する。
- 2 「賛助会員」は、市体協発刊の機関誌等の配布を受けることができる。
- 3 「賛助会員」は、市体協主催の講習会等に参加することができる。

◇会費

法人会員 1口 10,000円
個人会員 1口 5,000円

◇加入方法

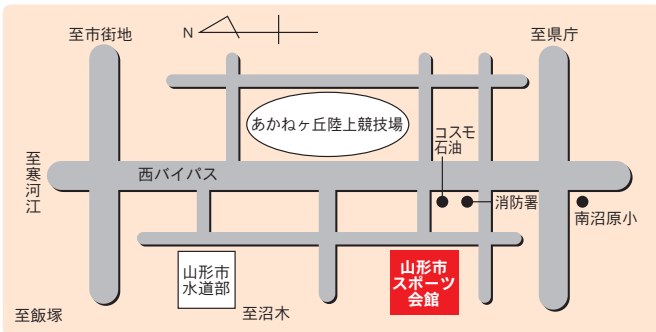
事業案内を充実させるため、より多くの新会員募集を努めております。ご賛同頂ける方は、下記宛にご連絡下さい。

◇申込連絡先

財団法人山形市体育協会 賛助会員担当：岡崎
TEL：023-647-4175 FAX：023-645-5595
URL：http://yamagatasi-taikyou.jp
E-mail：info@yamagatasi-taikyou.jp

財団法人 山形市体育協会事務局 (山形市スポーツ会館)

〒990-2477 山形市長苗代61番地 TEL 023-647-4175
FAX 023-645-5595



編集後記

前工平編集委員長からバトンタッチした、山形市陸上競技協会の東海林憲男でございます。前工平委員長同様皆様のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

今回も全国レベルの大会での活躍模様を中心にお伝えします。原稿・写真をお寄せいただいた皆様、各編集委員、事務局員の熱意によって、「躍動」にふさわしい内容になりました。関係者の皆様にお礼と感謝を申し上げます。

なお今後も身近な市民スポーツ情報誌とするため、読者の皆様のご意見などをメールでお待ちしております。

『躍動』へのご意見・ご感想をメールにて受け付けております。右記のアドレスへお送り下さい。 info@yamagatasi-taikyou.jp

躍動 第14号 2007 December

【発行】 財団法人山形市体育協会
【編集委員】 東海林憲男 奥山敏一 富樫庄一 安達敏美 柿崎俊春 西村久男 池田卓郎 石井宗吉 阿部祐一 荒井敬次郎
【事務局】 〒990-2477 山形市長苗代61番地 山形市スポーツ会館内 TEL 023-647-4175 FAX 023-655-5595
【ホームページ】 <http://yamagatasi-taikyou.jp/> 【印刷】 株式会社大風印刷

関智哉選手とハイタウルス



山形市馬術連盟

山形県無形文化財指定
山形豊烈打毬を支援しています。

会長 菊地 正美
事務局 山形市西田4-11-11
TEL 023-644-8731
長岡 茂樹

「秋田わか杉国体」出場

第62回国民体育大会 ボクシング競技

監督 三浦 希仁 (日大山形高校教諭)
斉藤 利行 (山形南高校教諭)

【少年男子】	フェザー級	林 国孝 (日大山形高)	準優勝
	ライト級	関東 貴広 (山形南高)	準優勝
	ウェルター級	本間 大朗 (山形南高)	第3位
	ミドル級	金田 晶佑 (山形南高)	第5位
	ライトフライ級	船山 和也 (日大山形高)	
【成年男子】	バンダム級	山本 拓哉 (日大山形高)	
	ライト級	佐藤 祐平 (日大山形高出身)	第3位
	バンダム級	片山 智之 (山形南高出身)	第5位

山形アマチュアボクシング協会